

茶の芽の生育状況を発信

桜の花の咲く頃、茶の芽は力強く芽吹いてきます。茶が芽吹いた状態を「萌芽」といい、防霜や茶栽培の作業を行う重要な目安となります。当所では、毎年、所内標準茶園のおよそ350個の芽を調査し、萌芽状態であることを発表する萌芽宣言をしており、本年は4月2日に行いました。また、萌芽後5日ごとに、新芽の生育状況を調査し、発表しています。今後も、調査に基づいた、茶生産に役立つ情報を発信していきます。



茶の新芽の生育を調査する（左上：萌芽のようす）